



新・魔法のコピーライティング 基本のひな形

基本のひな形

■ 推奨環境 ■

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader を無料でダウンロードしてください。

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

■ 著作権について ■

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は岡村元紀に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートのご利用は自己責任でお願いします。このレポートの利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

基本のひな形

【 目次 】

はじめに	- 4 -
基本のひな形	- 8 -
1. 当たり前のことを説明する	- 8 -
2. 呼び名はあなた	- 10 -
3. 文章の見た目を整える	- 11 -
4. ひらがな・カタカナを使う	- 14 -
5. 「」を増やす	- 15 -
6. 数字を使う	- 16 -
7. オープニングが全て	- 17 -
8. 一文字でも減らしてあげる	- 19 -
動画や音声で学びたい	- 20 -
基本のひな形おさらい	- 21 -
基本のひな形実践例	- 22 -
実践例 1.	- 22 -
実践例 2.	- 23 -
実践例 3.	- 24 -
実践者の感想	- 25 -
極秘プレゼント	- 39 -

基本のひな形

はじめに

「コピーライティングって複雑で意味不明だなあ」と学びはじめは誰でも感じます・・・。

5年前、はじめてコピーライティングという横文字を聴いた私もイメージが掴めず戸惑いを感じていました。

でも！

わずか30ページ足らずのこのレポートを10分ほど読むだけでコピーライティングが凄く簡単で、日常会話や普段の日記にさえ使える身近で易しいスキルという事に気づけますので、安心して下さい

それでは、私たちに富と豊かな人間関係をもたらしてくれるコピーライティングのお話をはじめていきます。

まず、「コピーライティングとは何か？」

一言で言い表すなら、

『営業マンが話しているセールストークを紙の上書き表したもの』

です。



基本のひな形

そして、これからお伝えする「コピーライティングの基本」というのはセールスマンで例えたら、

服装

顔の表情

声のトーンや言葉遣い

態度

などにあたります。

上記は「話の内容」ではない所が重要ポイントです。

例えば、もし、あなたの家に現れたセールスマンがパジャマ姿でガムをくちやくちや噛みながら「商品のメリットを聴いて下さい」とボソボソ声で言ってきたらあなたは話を聴くでしょうか？

きっと、1秒も話しを聴く気になれずドアの外に締め出すと思います。

たとえ世界最高レベルの素晴らしい内容を話そうとしても見た目で「聴く価値無し」と判断するのが私たち人間です。

相手に話を聴いてもらうためには、
きっちりとした格好（スーツ姿や髪型）
明るい表情や態度を最低限身につけなければいけません。

これから具体的にお話していく **8つの基本** というのも同じで内容を聴いてもらうための前段階に必要なものです。

文章でも同じことです。

読者さんに話を聴いてもらう前に、

基本のひな形

文章の正しいルックス・礼儀作法を知る必要があります。

簡単な話ですよ。

小学生に話すような内容で簡単過ぎたでしょうか。

でも、失礼ながら、ガムをくちやくちや噛みながら話すような文章がチラホラ見られます。

どんな素晴らしい内容を話していても、ガムをくちやくちや話すような文章では紹介した商品を買ってもらえるわけがありませんよね。

クリック数が伸びない、なんて悩みも当然です。

つまり、ココ（8つの基本）をきっちりクリアできていない限り、ネットビジネスでお金を稼ぐことは極めて難しいのです。

ココが出来てなければ、書くネタが面白いとか退屈とか言う以前にバツサリ問答無用で切られてしまうわけです。

この重要さに気づいて頂けましたか？

簡単なものほど、軽く見てしまうため、身に付けることは難しいです。

まずは、8つの基本を”忠実に”抑えることから確実にマスターしていきましょう。

8つの基本は以下のとおりです。

基本のひな形

1. 当たり前の事を説明する
2. 呼び名はあなた
3. 文章の見た目を整える
4. ひらがな・カタカナを使う
5. 「」を増やす
6. 数字を使う
7. オープニングが全て
8. 一文字でも減らしてあげる

順番に説明していきます。

基本のひな形

1. 当たり前のことを説明する

『アフィリエイトという単語を読者さんは知らないかも知れない…。』

ご自分の読者さんの知識がどれぐらいあるか、
あなたは想像したことはありますか？

もちろん、いろんな知識レベルの読者さんがいます。

例えば「PPC」「PDF」「アフィリエイトリンク」「サーバー」とか
このような業界用語を既に知っている人もいれば、

アフィリエイトを今日始めようと決意して
まだアフィリエイトという単語の意味も
理解していない読者だっている可能性があると思います。

当たり前の事を説明するというのは、
自分にとっては当たり前の事でも、無知の読者さんの
ために噛み砕いて説明を入れてあげるという事です。

例)

アフィリエイト

(※販売者の商品を代わりに販売して
仲介料を報酬として頂けるビジネス)

これをしないと、業界用語を全く知らない初心者は
意味不明の単語が並んだ文章を目にすることになるので
当然、読めません。スグにページを閉じられてしまいます。

基本のひな形

情報発信をしているあなたは既に知識レベルが一般の読者さんより高いことを覚えておいて下さい。

あなたにとって当たり前の事が読者さんにとっては「相当難しい」「意味不明」という事は多々あります。

(ご注意)

「8つの基本」については、レポート後半でお渡しする「基本のひな形添削編」で、具体的な文章を例にして、もう一度、丁寧に解説していますので今はピンと来なくても安心して下さい。

今は、軽い気持ちでリラックスしてひと通りお読み下さい。

基本のひな形

2. 呼び名はあなた

- × みなさんにコピーライティングの大切な話があってレポートを書いています。
- あなたにコピーライティングの大切な話があってレポートを書いています

例えば・・・、あなたはキャバクラに行った事がありますか？

キャバ嬢が「あなた」ではなく、「みんな」に向けてひたすら話していたらどう感じますか？

「みんなの仕事は何ですか？」
「わあ、みんな素敵ですね～！」
「みんな私のタイプです。」

男性はよくわかると思いますが、みんな（その他大勢）に向けて話されても全然、心に響かないですよ。

「あなた一人」が素敵で「あなた」一人が好みのタイプと言われたいのが人間です。

ブログやメルマガでも「その他大勢」、「みんな」ではなくて一人の人間に話しかけるように書いてあげてください。

個人に話しかけてあげるような文章を書き続けていくと読者さんの熱さが変わってきます。

お客様はその他大勢と言われるのは絶対に嫌なので必ず、「あなた」と個人に話しかけるように書いてあげてください。

基本のひな形

3. 文章の見た目を整える

せっかくいいことを書いていても改行もせずに文字をギュウギュウ詰めにしていたら読まれない

oooooooooooooooooooooooooooo
oooooooooooooooooooooooooooo
oooooooooooooooooooooooooooo
oooooooooooooooooooooooooooo
oooooooooooooooooooooooooooo

(改行スペースなしは読みづらい)

↓

oooooooooooooooooooooooooooo

oooooooooooooooooooooooooooo
oooooooooooooooooooooooooooo
oooooooooooooooooooooooooooo

oooooooooooooooooooooooooooo
oooooooooooooooooooooooooooo

(例えば、1行、3行、1行と行をリズムよく配置してあげると読みやすい)

ダメな人のセールスレターというのは文字がぎっしり詰まっていて改行やスペースがありません。

だから、パッと見た瞬間に読むのがイヤになって

基本のひな形

見た目でページを閉じられてしまいます。

3行、1行、2行というように、
テンポよく文字を並べてあげることが大切です。

それと、1文の行数は4行以内にしてあげてください。

1文が5行以上になるとそれだけで反応が落ちます。

4行以内を心がけて、どうしても長くなりそうな場合は
適当なところで文章を区切ってあげてください。

(繰り返しますが、基本のひな形・添削編を見ると
事例つきで意味がよくわかりますので安心して下さい。)

そして、一行の長さにも気を配ってあげて下さい。

1行の長さは16文字～28文字(句読点込み)の
範囲内に”基本的”に抑えてあげて下さい。

改行スペースは、基本的に1行が望ましいです。

「なぜ、文章の見た目を8つの基本のひな形にする必要があるのか？」

先人が繰り返しテストしてきて高い数字がとれているからです。

ビジネスは感情で判断するものではありません、

テストをして「一番下まで読まれた文章の見た目」

「一番、クリック数が高かった見た目」が
この基本のひな形のルールになっています。

数字で判断することがビジネスではとても重要です。

基本のひな形

文章の内容ではなく、パッとみた、文章の見た目でかなり反応や、しいては収入に差が出ることに1秒でも早く気づいて下さい。

基本のひな形

4. ひらがな・カタカナを使う

- × 情報販売業は私たちが豊かにします
- 情報ビジネスは私たちが豊かにします

漢字だらけになりそうな場合

ひらがな、カタカナに変換できないか考えてみる。

漢字が多いと見た瞬間にイヤになってしまうのが人間です。

人は見た目が9割という本がありましたが、
文章も見た目が9割といっても過言ではありません。

なるべく漢字は避けて、読みづらく感じない範囲内で
ひらがなカタカナを多く使う事です。

「体」をあえて「カラダ」と表現してみたり
コンビニに並んでいる雑誌をみてもよくありますよね。
大衆雑誌は一人でも多くの人に読んで貰いたいので、
すごく表現法に気を使っているのです。

逆に、「ほとんど」を「殆ど」と言ってしまういたり、
パソコンの変換機能で難しい漢字を使ってしまいがちな人は
今日を境にして本当に気をつけて下さい。

苦勞して書いた文章が、内容以前に、パッと見の印象で
勝負が決まってしまうのではあまりにももったいないですよ。

難しい漢字を使ったほうがインテリ（知的）にみえる
というのは自己満足になってしまうので気をつけて下さい。

基本のひな形

5. 「」を増やす

「」 = セリフ

面白い小説は「」が多い

テレビドラマなどは9割が会話で成り立っている

面白い文章を書くために「」（セリフ）を入れられないか工夫する

どんなに完璧で、良い商品があっても私たちは
文字でその素晴らしさを伝えなければなりません。

基本的に文字で見ると凄くつまらなく感じてしまうものです。

だから、「」を増やしてセリフを増やしてあげてください。

人は読むと納得するという性質があります。

私がよく使うテクニックの1つは何か説明したあとに、

「わかりました、岡村さん。

こうやってやればダイエットは成功するのですね・・・。

でも、〇〇〇〇（反論）じゃないですか？」

という言葉をおざわざ書きます。

お客様は読むと納得するという性質があるので、
難しい話でも気持ちを代弁してあげて読ませてあげると
お客様の中で腑に落ちるのです

基本のひな形

6. 数字を使う

- × ちょっと前にアフィリエイトで割と儲かりました。
- 21日前からアフィリエイトをはじめて10万円儲かりました。

曖昧な表現を出来る限り無くして下さい。

たくさん かなり すごく 割りと ちょっと前に ぼちぼち

→数量を現す副詞は数字にできないか書き終えたらチェックする

単純な話ですが、なるべく数字を多く使う事です、

「たくさんお金を稼げる方法」ではなくて、
「30日で15万円稼げる8つの法則」というように

数字をなるべく多く使うという事です。

数字は強力です。

数字がそこにあるだけで具体性がアップして興味深くなります。

試しに一度書いたセールスレターやレビュー記事の曖昧表現を
全て数字に変えて読みなおしてみてください。
文章の印象がガラリと変わることに気づかれると思います。

数字が増えただけでプロ並みのレターに印象が変わります。

レターが無い方はインフォトップさんで売れているランキング上位
のレターとそうでないレターと数字の比率を比べて観て下さい。

基本のひな形

7. オープニングが全て

書き出しで興味をもってもらえなければ全てが台無し

メルマガの件名
ブログのタイトル
無料レポートのタイトル
セールスレターのキャッチコピー

上記は、基本的に一番最後に書くことをお勧めします。
→本文を全て書き終えた後に考えることで、より要点を絞り込める

そして、大原則として文章は上から読まれる性質のため、
ボディコピー（本文）ではオープニングの重要度が一番高いです。

オープニングに9割の力をそそがなければ、
後でどんな良い事を書いても意味がありません。

例えば、お菓子を食べながら TV を見ている子供に突然、

「お前、TV を見ながらお菓子を
食べて、そのまま寝てしまうと虫歯になるぞ。
ちゃんと、歯を磨いて寝ろよ。」

と忠告しても子供の耳には1ミリも届いていません。

大切なのはまず興味を引くことです。
聞く耳をもってもらい言い方をわざわざしてあげることです。

例えば、前置きとして
「オモチャをあげるから話を10秒だけ聴いて。」

基本のひな形

と言う必要があるのです。

はじめに振り向いてもらえなければ、何を言っても意味がありません。

しかし、はじめに振り向かせることができさえすれば後の話が多少だらしなくても何とかあります。

世の中のブログ・メルマガ・セールスレターなどをみても、書きだしてインパクトを与えて興味を引かせることができていないのでそこで落ちてしまっています・・・。

文章はオープニングで9割勝負が決まります。

基本のひな形

8. 一文字でも減らしてあげる

文章を書き終えた後に「一文字でも減らせないか」
自分の文章をチェックする気配りを持って下さい。

これは、短文のほうが長文よりベターという意味ではありません。
「無駄に長い文字・文章をカットせよ。」という意味です。

あなたはムダに話が長い人と出会った事はありませんか？

彼が話し始めた時の感情を思い出してみてください。
(イライラして一刻もはやく立ち去りたかったでしょう。)

それと同じで意味の薄いダラダラした文章を読まされるほど
読者にとって苦痛な事はありません、無駄な表現が多いと
読者は強いストレスを感じます・・・

文字を減らす事は、相手の時間を尊重してあげる事に通じます。

コピーライティングは読者への愛情だと感じています。

文章を面白く表現するのも、読みやすくするのも、レターに想いを込めて本当に読者さんに役立つ良い商品を届けるのも、
全て愛情と思っています。

こういう配慮は、読者さんに必ず伝わりますのであなたも
形だけの技術でなく愛情をもって文章を届けてあげて下さい。

ひと通り説明してきましたが8つの基本は以上となります。

基本のひな形

動画や音声で学びたい

新・魔法のコピーライティングの学習法の推薦手順は
「まずテキストでひと通り読み終える」、
そして、「復習としてビデオや音声でもう一度試聴する」
という学習手順をお薦めします。

特に、音声は通勤途中などでも学べる媒体ですので
繰り返し聴いて頂ければと思います。

基本のひな形（8つの基本）を動画で学びたい場合には
以下をクリックして下さい。

<http://www.youtube.com/watch?v=JDbco-6i9ck>

音声で学びたい場合には以下をクリックして下さい。

<http://copywriting.cc/ex1onsei.zip>

目で文章を読むだけでなく、
目・耳・手などより五感を使って学ぶほど早く、深く身につきます。

基本のひな形

基本のひな形おさらい

基本のひな形の使い方を整理します。

1. 当たり前の事を説明する
2. 呼び名はあなた
3. 文章の見た目を整える
4. ひらがな・カタカナを使う
5. 「」を増やす
6. 数字を使う
7. オープニングが全て
8. 一文字でも減らしてあげる

基本のひな形の使い方は、
慣れるまでは簡単ではないかも知れませんが、
理論は凄く易しいですよ。

当然ですが、私をはじめからマスターしていたわけではありません。

どんなに今、凄い名コピーライターでもはじめはみんな
赤ちゃん状態から基礎を積み重ねて書けるようになっています。

あなたも、時間をかけて基本をインプットし、
繰り返し、繰り返し書くことでスキルを体得して行って下さい。

コピーライティングは体で（書いて）覚えていくものです。

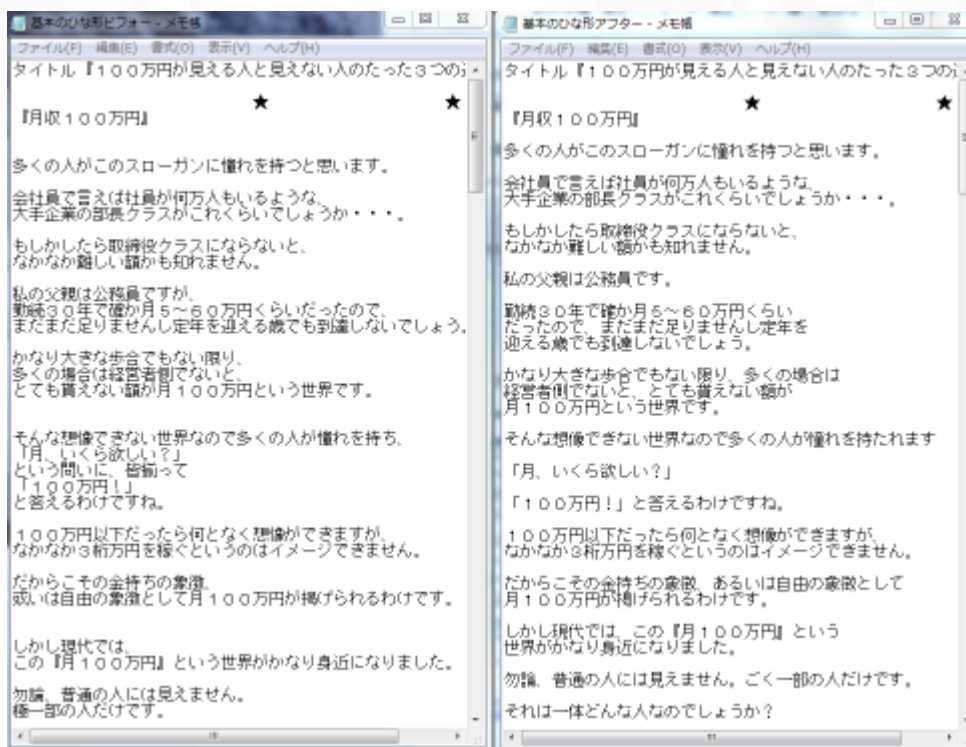
私も5年前から2000日以上、毎日文章を書き続けてきました。
毎日、記事を書くことがコピーライティング最良の勉強法です。

それでは、「基本のひな形」の実践例を紹介していきます。

基本のひな形

基本のひな形実践例

実践例1.



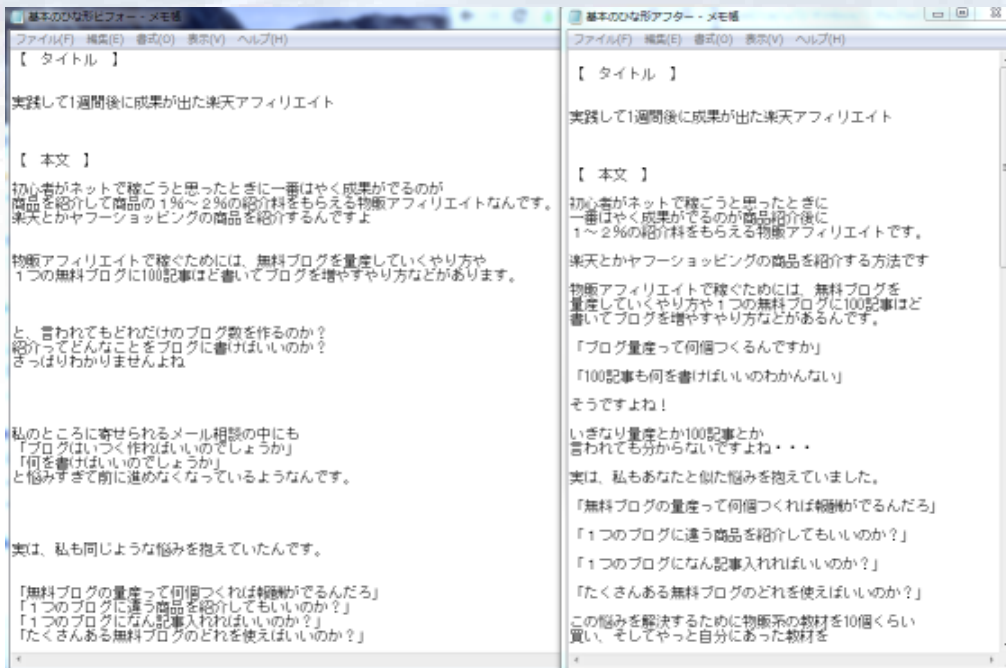
(テキストファイルが2つ入ってますので、
上記のように並べて比較すると分かりやすいです)

コチラからダウンロードできます。

<http://copywriting.cc/ex1toyasan.zip>

基本のひな形

実践例2.



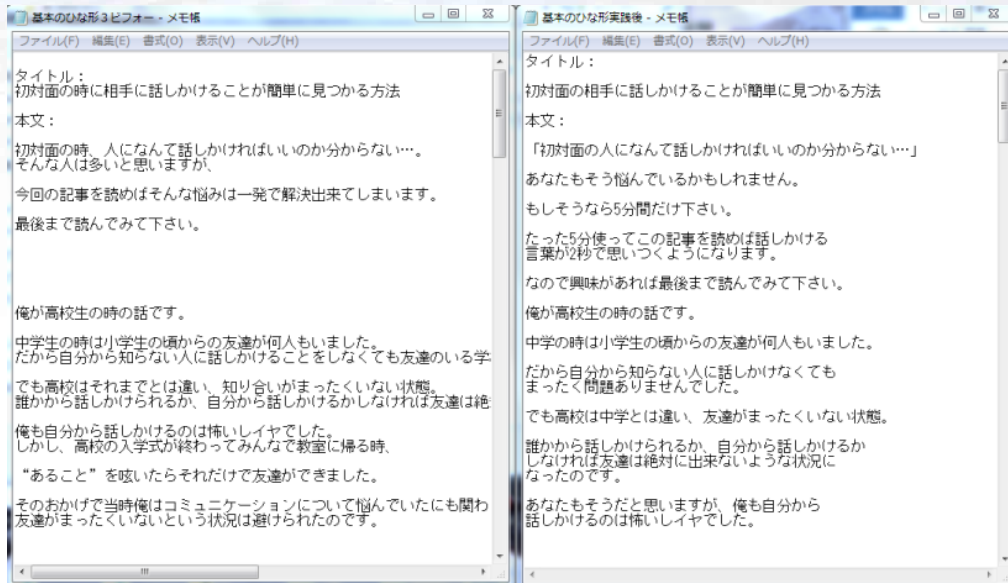
(テキストファイルが2つ入ってますので、
上記のように並べて比較すると分かりやすいです)

コチラからダウンロードできます。

<http://copywriting.cc/ex1hi.zip>

基本のひな形

実践例3.



(テキストファイルが2つ入ってますので、
上記のように並べて比較すると分かりやすいです)

コチラからダウンロードできます。

<http://copywriting.cc/ex1-3.zip>

実践者の感想

■実践者の感想 1

【今までの自分はココができていなかったと気づいた点】

正直、8つの基本は自分ではできているつもりでした。

しかし自分の記事を8つの基本を意識して読むと…。
まったくできていませんでした。

特に基本3と基本5と基本6が足りていなかったです。

1行は平気で30字ぐらいいっていましたし、
読者さんのセリフも少なかったし、
数字にできる曖昧な表現が考えてたよりありました。

【今回やってみた感想】

「読者さんへの想像力が欠けてたんだなあ。」
と今回感じさせられました。

岡村さんがおっしゃっていたように
「テキストに書いても
読者さんは最後まで読んでくれるだろ。」
と心の中で考えていたんだと思います。

どうりで稼げないわけだ、と^^；

基本のひな形

自分の甘さを痛感いたしました。

【今回の学びを今後どう活かすか？】

書いた後で、
必ず1回はこの8つの基本を意識しながら
自分の文章を読み返し、修正します。

そして、
「読者さんは忙しい。」
ということは常に意識しながら
文章を書いていきます。

2013年5月12日 10:28 PM | ヤギ

基本のひな形

■実践者の感想 2

今まで、あなたと呼びかけをしてこなかったことと、
数字に置き換えられるような曖昧な言葉が多かったです。

今回エクササイズをやってみて、慣れないから時間がかかったけど、
この8つの基本を身に付けることは難しいことではないですね

私の課題は「あなた」と呼びかけられるように必ず一人の人を
イメージしながら文章を書いていくことだと思いました。

2013年5月12日 11:49 PM | ひよひろ

■実践者の感想 3

【今までの自分はココができていなかったと気づいた点】

・当たり前のことを説明する。

が一番できてなかったし、
どう説明すればいいかわからなかった。

自分が今まで関わってきた人の感じだと
知ってることを説明しちゃうと、

「バカにしてるのか！」

と怒られる感じがあったので、

基本のひな形

悩んでいたが、第三者との会話調にすればいいことがわかったので、解決した。

- ・文章の見た目を整える

整え方のスタイルが岡村さん式と違っていたので、修正した。

誤字脱字の読み直しの時に感じたが、今まで自分がやっていた方式より、岡村さん式のほうが断然読みやすい。

修正できてよかった。

- ・「」を増やす

心情に「」を使うと、読みやすいことに気づいた。

そして、読み直しの時に気づいたが、感情移入しやすい。

【今回やってみた感想】

一度は聴いたノウハウばかりだが、やってなかったことに気づいた。

やっぱり、先生は1人に絞って、徹底的にやったほうがいい。

基本のひな形

そうじゃないと、
凡人は成功できない。

逆にそれをやれば、
本当に、誰でも成功できる。

【今回の学びを今後どう活かすか？】

このプロジェクト、
徹底的にやり抜きます。

そして、新まほコピのノウハウを
人に教えられるくらいのレベルで
自分のものにします。

2013年5月13日 9:15 PM | だいすけ

基本のひな形

■実践者の感想 4

●今回学んだこと

「読んでいる人は優等生じゃない」という最後の内容が、
すごく心に響きました。

今までたぶん私は優等生に向けて文章を書いたはず。
わかってるだろう、ということが前提で書いていたから通じないわけです。

内容すべてが新鮮で、楽しく学べています。
ありがとうございます。

●実際に自分の文章を書き直して感じたこと

具体的な数字、という点で全然だめでした。

漢字を使いすぎないという点も、
自分の文章を客観的に見たら真っ黒で、
ああ、こういうことか…ということに気付きました。

「」をつけるという発想も全くなく、
のんびんだらりんとした文章を書いていたんだなーと感じました。

詰まるところ、優等生に向けて書いていたんだな。
と再確認しました。

基本のひな形

●今回の学びをどう生かすか

学んだことを、理解して、
今後書く文章すべてに生かしていこうと思います。

とにかく相手は5歳児だということを、
今後文章を書くときに忘れないようにします。

素晴らしい学びの場をいただきまして、ありがとうございます^^

2013年5月14日 8:12AM | りんりん

■実践者の感想5

【今までの自分はココができていなかったと気づいた点】

今回動画を見直して、
実際にメルマガの記事を直してみると
基本2と3と5と7も不十分だったとわかりました。

特に、基本7の「オープニングがすべて」
というポイントは、まったく意識していませんでした。

【今回やってみた感想】

これまでは、とりあえず思いつくままに
文章を書いていただけだったような気がします。

読者に最後まで読んでもらうための気配りが全然足りていませんでした。

基本のひな形

全体を見直した後に、
オープニングを読んでみたら
「まだ改善できる！」と驚きました。

【今回の学びを今後どう活かすか？】

今後はメルマガやブログの記事を書く際に
7つのステップを意識するようにし
書き終わった後に、もう一度見直して
7ステップが使われていることを確実にします。

特に、初心者の読者の視点に立って
読みやすく、興味を引くように心がけたいと思います。

2013年5月14日 9:40 PM | ミネコ

■実践者の感想6

【今までの自分はココができていなかったと気づいた点】

- ・当たり前のことを説明する
自分自身が初心者の頃は、一生懸命にわかりやすく書いていた記事が
いつの間にか、なんとなく言葉を並べているようになっていました。

ブログを全記事読み返して、痛感しました。

基本のひな形

- ・「」を増やす

この意識のなさに、茫然・・・
つい、ブログ記事は文字装飾に頼っていました。

- ・数字を使う

もっとも出来ていなかったところです。

「たくさん・めちゆめちや・スッゴク・とつても」が目立ちすぎます。

- ・「オープニングがすべて」

一番衝撃なのは、ここでした。

私の今までの考え方と、真逆でした。

【今回やってみた感想】

私の記事が「いかに、読まれない文章か」を痛感しました。

【今回の学びを今後どう活かすか？】

過去のブログ記事の添削をして、
7つのステップにそって記事を更新します。

今後チャレンジするメルマガにも
7つのステップにそって、書いていきます。

2013年5月15日 4:15 PM | うみうみ

基本のひな形

■実践者の感想 7

<自分が出来ていなかった所>

自分の文章を七つの基本に基づいて
添削するにあたり何度も文章を読み直してみた。

そこで、気づいたところは、第一印象として
この文章は、読みづらいイヤだなーということ、

「読み進むのが億劫だろうなーと。」

その原因は、書くときに読み手のことを
考えず、自分の独りよがりの文章になって
いた。

また、気持ちよく読んでもらうための
テクニックが全くできていなかった。

(具体的には)

- 1 文章の見た目、行あたりの文字数が
規定から大きくオーバーしていた。
- 2 改行も1行のこともあれば3行のこともある
意識せずに改行していた。
- 3 セリフのテクニックが、使かえてなかった。

基本のひな形

< 七つの基本を使っでの感想 >

あまりにも、自分の文章に思い入れが強すぎたため、客観的に観ることが出来ず、

自分の書いた文章を訂正する事が骨の折れる作業だと解った。

しかし、勇気を出して、最初から書き直すつもりで、修正作業をしていった結果、自分でも驚くような文章に代わってしまい

「ビックリしてしまった。」

特に（セリフ）を使うテクニックは、岡村さんにその使い方を教えていただき、使ってみたら、

硬い文章が、親しみの持てるわかりやすい文章になり目からうろこが落ちる思いがした。

コピーライティングには、七つの基本が本当に、大切でありこれできていなければ、読者は、見向きもしてくれない。

そんな、事を理解できました。

< 今後にドウ生かしていくか >

文章を書くとき、七つの基本を常に意識していきたい。

文章の内容を、読者にわかりやすく伝える

基本のひな形

ために、セリフを多く取り入れて行きたい。

ブログやメルマガにもセリフを取り入れて
ていきたい。

2013年5月19日 4:46 PM | 笠

■実践者の感想 8

・今までの自分はココができていなかったと気づいた点

初心を忘れていました

読者さんの事を考えていない

読者さんもこれ位は分かっているものと思っていました

ココまで細かく行数などの設定が出来ていなかった点

読みやすさも確かに重要だと改めて思いました

まずは読んでくれないものなんだなぁと感じました

・今回やってみた感想と

ただただ楽しかったです

初めての事だらけでしたので

難しいのかと思っていましたが

基本のひな形

単純な事が重要だと改めて思いました

もっと文章を書く事を楽しめたら良いなあと感じました

・今回の学びを今後どう活かすか？

アフィリエイトを知らない方でも

分かるような記事を書いていく事

「」を増やして

会話調の文章を増やしていけたらと思います

あとスグに忘れてしまうと思うので

ノートに書きだしてみようと思います

2013年5月24日 9:35 AM | とれんどる

基本のひな形

■実践者の感想 9

■今までの自分はココができていなかったと気づいた点

やはり読者に対する配慮が欠如していたと思う。
如何に好き勝手書いていたかを思い知らされた。

書く前は、

「え？こんな当たり前のこと？」

と思っていたが、

やってみるといやはや上手くできないものであった。

■今回やってみた感想と今回の学びを今後どう活かすか？

久しぶりに読者目線を強く意識した文章作成だった。

何度も読み返しては書き直し、

『自分』以外の人の気持ちで読んでみるのは、

なかなか難しいが、新鮮な気持ちであった。

一人頭の中に大事な人を思い浮かべてみるといいかも知れない。

そんな大切な人に強引な売り込みはできないはずだから。

気付きの多いエクササイズでした。

基本のひな形

極秘プレゼント

コピーは体で覚えるものです。

実際に手を動かさなければ永遠に身につきません。

「実際に基本が身についたかどうか先生に
私の文章を直接見て欲しい」

そういうお客様のご要望が5年前からありました。

あなたの書いた文章（過去記事）をどれでも良いので、
1つ取り出して8つの基本にそって一度書きなおして下さい。

完成したら下記フォームから文章を送ってきて下さい。

http://japan-copywriting.com/form_if.cgi?type=1&id=kihon

8つの基本に沿って書いた文章を提出して頂けたら
添削ビデオ+極秘プレゼントをさし上げます。

添削ビデオは販売前に募集させて頂いた教材のモニター様の
文章を実況中継のようにビデオで添削した興味深いものになります。

8つの基本の理解度が飛躍的に高まるので必ず聴いて欲しいです。

それでは、8つの基本の章はこれで終わりになります。
次のコンテンツ記事の章に進んで下さい。

最期までお読み頂きありがとうございました。

岡村 元紀



新・魔法のコピーライティング

ご質問・ご要望・ご感想などいつでも
お気軽に下記フォームよりお送りください。

http://japan-copywriting.com/form_if.cgi?type=3&id=mahog